

# 福井新聞

年縞を核とする三方五湖の魅力を満喫できるモニター  
ツアー＝8日、若狭町熊川



## 研究者と年縞、五湖巡り

### 県観光連 ツアー企画を試行

年縞を核とした三方五湖の魅力を満喫できる2泊3日のモニターツアー「研究者が語る奇跡の水月湖クルージングツアー」が8日、始まった。大学教授やJR西日本社員ら10人が、年縞研究の第一人者、中川毅・立命館大教授と美浜、若狭町を回る旅程。感想や意見を基に来年1月末をめどに、富裕層ら向けツアーとして打ち出す。

県観光連盟が環境省の採択を受け展開する事業「年縞を核としたサステイナブル(持続可能)ツーリズムの確立」の一環。ツアー造成に加え、地域の魅力を伝える「おもてなし」さんなど人材発掘に注力し、観光客の受け入れ態勢を整える。関係人口拡大やU・Iターン促進にもつなげ、三方五湖周辺の文化と自然環境を持続的に保つ狙いだ。

ツアー初日は小浜市の明通寺などを見て回った。若狭町の熊川宿では、中川教授が同町を取り巻く四つの断層の影響について解説。地殻変動で「水月湖湖底が沈み続け年縞が残った」京都へ抜ける鯖街道が形成された」など話した。

2日目は年縞博物館見学、3日目は水月湖上での朝食クルージングなどを予定。静岡県から参加した大津准教授の鶴飼一博さんは「興味深くて面白そう。年縞を知る人は少ないと思うので観光の伸びしろを感じると話していた。

県観光連盟は今後意見を基に改めて旅程を考え、ツアーを実施する予定。

(北川龍次)